

令和6年度 第1回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日時：令和6年5月9日（木）16時00分～17時30分

場所：ZoomによるWEB会議

出席者：1号委員 大湊、河島、滝口、池田【議長】、奥村

2号委員 菊地、今村(代理)、内村、野田、藤本、鈴木、蔭(欠席)、山城

3号委員 加藤、山口、王、梶川、小林、角、塚原(欠席)、杉浦

4号委員 大倉、宮本

5号委員 平野

6号委員 柴山、畑山、廣井

オブザーバ 堀、境、黒川、久利、内山

陪席 河津、山本

(敬称略、委員名簿順)

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿

資料2 令和5年度 第3回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 令和5年度自然災害研究協議会決算報告

資料4 本部・各地区部会の活動報告及び予算計画

4-1 本部、4-2 北海道地区、4-3 東北地区、4-4 関東地区、4-5 中部地区、

4-6 近畿地区、4-7 中国地区、4-8 四国地区、4-9 西部地区

資料5 令和6年度 自然災害研究協議会予算（案）

資料6 第61回 自然災害科学総合シンポジウム（案）

資料7 7-1 自然災害研究協議会科研費（突発災害）申請ガイドライン

7-2 突発災害調査委員会名簿（令和6年度）（案）

（参考）規程、申合せ

議事に先立ち、堀京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、黒川文部科学省研究開発局地震火山防災研究課課長補佐兼防災科学技術調整官から挨拶があった。

前回議事録の確認

令和6年3月18日開催分の令和5年度第3回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の議事録（案）について、確認のうえ、原案どおり承認された。

議 事：

1. (報告) 委員の紹介

各委員より、自己紹介及び専門分野の紹介があった。

2. (報告) 令和 5 年度自然災害研究協議会決算報告

資料 3 に基づき、決算について王委員より報告があった。

3. (審議) 本部・各地区部会の活動計画及び予算計画

資料 4-1～4-9 に基づき、各地区部会より令和 6 年度の活動計画及び予算計画について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 本部：第 61 回自然災害科学総合シンポジウム、(共催) 河川災害に関するシンポジウム(主催：土木学会水工学委員会)、(後援) 防犯防災総合展 2024、科研費(特別研究促進費)・突発災害調査の実施、自然災害研究協議会による突発災害(初動調査、継続的調査等)調査研究サポート、データベース SAIGAI の充実、国際展開調査、研究者ネットワーク(人材データベース)
- ・ 北海道地区：北海道地区幹事会 2 回、北海道地区総会 1 回、地区フォーラム開催、北海道地区自然災害科学資料センターホームページの管理運営
- ・ 東北地区：東北地域災害科学研究集会及び東北地区部会総会の開催、研究論文集「東北地域災害科学研究」第 61 巻の発行(2025 年 4 月を予定)、ウェブページの管理運営 <http://nds-tohoku.in.arena.ne.jp/>、メーリングリスト(東北地区部会員名簿)の管理運営、東北地区自然災害資料センターの管理運営
- ・ 関東地区：市民オープンフォーラムの開催
- ・ 中部地区：げんさい楽座のスパınアウト企画の開催等、減災連携研究センターシンポジウムの開催等、「三重大学・防災アカデミー」の開催、シンポジウム「インフラの耐震性強化・災害復旧とメンテナンス」の開催、東三河地域の防災力向上シンポジウムの開催、自然災害科学中部地区研究集会の開催、中部地区自然災害資料センターの活動、自然災害調査・報告活動
- ・ 近畿地区：近畿地区部会メンバー名簿更新、近畿地区部会幹事会の開催、防災関連研究集会の共催、ホームページの内容更新
- ・ 中国地区：部会ホームページの管理運営を行うとともに内容の充実を図り、部会員へ情報提供等を、2024 年度自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施、

自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集（第 11 号）の発行、各防災研究グループへの活動補助（調査旅費、調査用消耗品等）を実施、中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）に在住する研究者等との研究活動の連携、山口大学地域レジリエンス研究センターと連携して諸活動を展開、予算は通常より 10 万円多く申請

- ・ 四国地区：突発災害調査又は過去の被災地復興調査、令和 6 年度自然災害フォーラム及び第 19 回南海地震四国地域学術シンポジウムの合同開催、四国地区部会の開催
- ・ 西部地区：西部地区部会研究発表会の開催、西部地区部会報第 49 号の発行と関係機関等への配布、西部地区部会メーリングリストの管理・更新

4. （審議）令和 6 年度自然災害研究協議会予算（案）

資料 4-1～4-9 基づいて作成した令和 6 年度の予算案（資料 5）について池田議長より説明があり、現案のとおり了承された。

5. （審議）第 61 回自然災害科学総合シンポジウム（案）について

資料 6 に基づき、第 61 回自然災害科学総合シンポジウムについて池田議長より説明があり、今年 9 月 21 日（土）に日本自然災害学会学術講演会と連携して、千葉大学・西千葉キャンパスで開催する案が了承された。すでに講演者から内諾を得ている。なお、来年度以降、日本自然災害学会と共催して開催することは決まっていない。

6. （審議）突発災害調査委員会について

資料 7 に基づき、令和 6 年度の突発災害調査委員会について、池田議長及び王委員より説明及び提案があり、突発災害調査委員会委員について了承された。

申請ガイドラインについて、文部科学省の組織名変更に合わせて修正することとなった。具体的には、「文部科学省研究開発局」を「文部科学省研究開発局地震火山防災研究課」に修正する。

7. その他

- ・ 池田議長より、第 2 回の開催日はシンポジウムとは別の日になる旨、案内があった。
- ・ 池田議長より、議長選出前の議長代行委員について、第 2 回で検討する旨、案内があった。

- 内村委員より、各地区の資料に関する使用ルールについて確認があり、第 2 回までに確認することとなった。
- 池田議長より、シンポジウムについては本会の予算から旅費を支出できるので、出来るだけ現地で参加するよう案内があった。
- 藤本委員より、令和 5 年度第 3 回で確認した委員名簿（防災研究所の委員数）について確認があり、第 2 回で確認することとなった。